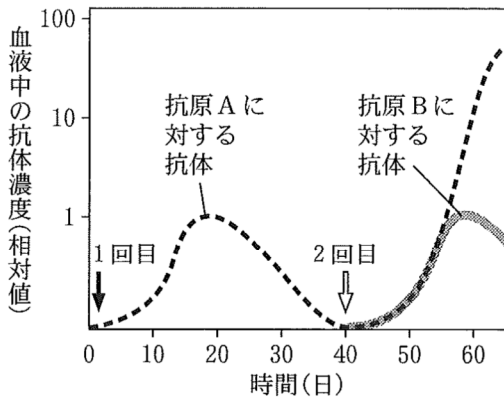


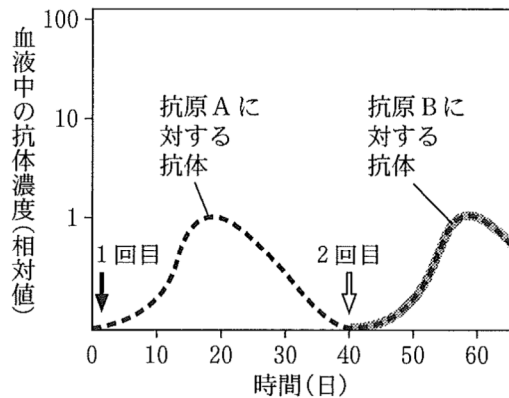
B ヒトの体内に侵入した病原体は、(c)自然免疫の細胞と獲得免疫(適応免疫)の細胞が協調して働くことによって、排除される。自然免疫には、(d)食作用を起こす仕組みもあり、獲得免疫には、(e)一度感染した病原体の情報を記憶する仕組みもある。

問 5 下線部(e)に関連して、以前に抗原を注射されたことがないマウスを用いて、抗原を注射した後、その抗原に対応する抗体の血液中の濃度を調べる実験を行った。1回目に抗原 A を、2回目に抗原 A と抗原 B とを注射したときの、各抗原に対する抗体の濃度の変化を表した図として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 11

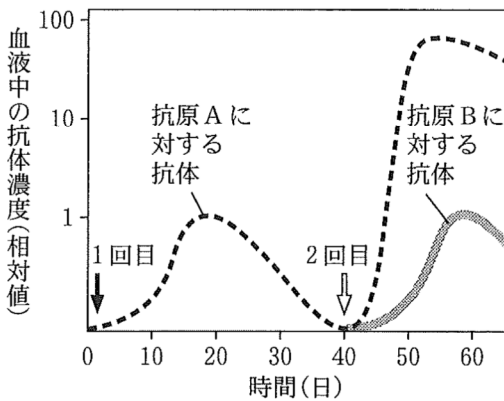
①



②



③



④

